



第759号
令和2年1月1日

- 統率方針
先進作戦集団として
使命を完遂する。
- 要望事項
一、国を守る気概
一、即動・強靱
一、チーム北海道

発行：北部方面総監部広報室

新年のご挨拶

北部方面総監
陸将 吉田 圭秀



皆様におかれましては、令和改元後初めての新年を御家族ともども健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また昨年は、我々北部方面隊の活動に深いご理解と暖かいご支援を賜りましたことに、心から感謝を申し上げます。

さて、我が国を取り巻く戦略環境は、引き続き極めて厳しい状況となっております。一昨年の米朝首脳会談後、「ポーズボタン」が押された状態であった北朝鮮の核ミサイル問題については、昨年、北朝鮮が短距離弾道ミサイルから徐々に発射を再開しており、予断を許さない状況となっております。さらに、インド太平洋地域における21世紀半ばまでの最も本質的な安全保障問題である米中間の勢力均衡関係が顕在化してきました。米国は、いわゆる「貿易戦争」と言われる経済分野のみならず、安全保障において、東シナ海及び南シナ海において、急速に拡大する軍事事務を背景として力による現状変更を試み、中・長期的に戦略的深遠の拡大を企図している中国に対し、「協力」から「競争」の関係に舵を切りました。また、ロシアについても、我が国の北方領土に地対艦ミサイルを配備する等、その軍事事務の動向を注視する必要があります。

これらに加えて、一昨年の西日本豪雨や胆振東部地震、昨年の台風15・19号等の自然災害は、頻りに我が国土を襲い、「異常気象の常态化」や「地震活動期」に入ったとも言われており、北海道においても、千島海溝型地震や札幌直下型地震等の大規模震災に対する備えも、喫緊の課題となっております。

この厳しい安全保障環境に対応するため、我が国は、一昨年末「防衛計画大綱」を策定し、防衛力の抜本的強化を図っておりますが、2個師団・2個旅団と最大の方面直轄部隊を有する3万人の作戦集団である北部方面隊は、陸上自衛隊の改革を先導していく役割を担っております。

昨年、北部方面隊は、方面隊全力で参加した「北部方面隊総合戦術演習」等、年間を通じて部隊訓練によって作戦遂行能力を向上させるとともに、台風15号及び19号に際しての千葉県、宮城県、福島県における災害救援活動や、ウガンダ共和国に第3施設団藤室2佐以下18名の教官団を派遣し、施設部隊要員の能力構築支援を実施した「国連PKO支援部隊早期展開プロジェクト(RDEC)」等の任務を完遂致しました。

北部方面隊は、本年を「令和の改革」元年と位置づけ、次の3つの変革を推進して参ります。

1つ目は、新たな防衛計画大綱に謳われている「多次元統合防衛力」の具現化です。具体的には、ハイブリッド戦の能力を高めている周辺諸国の軍事力に対応するため、陸上・海上・航空・宇宙・サイバー・電磁波という領域を横断する作戦を遂行する能力を高めるとともに、平時からグレーゾーン、さらに武力攻撃事態に至るまで、シームレスな事態対処ができる能力を高め、抑止力を強化して参ります。

2つ目は、北部方面隊は、「フォース・ユージャー」として、北海道の防衛警備・災害対処を担う使命は、創隊以来変わりありませんが、それに加え、「フォース・プロバイダー」として、方面管区外の要域に緊急展開し、任務を完遂する能力を高めて参ります。

3つ目は、全国の演習場の約5割を占める北海道の良好な訓練基盤をさらに充実させ、北部方面隊のみならず、他方面隊の部隊も、北海道に転地訓練し、練度を高められるよう、ホストの方面隊として万全の支援体制をとって参ります。

「先進作戦集団」たる北部方面隊は、いかなる事態が生起しても、即応し、強靱に任務を完遂し、国民・領土・主権を断固として守って参る所存であり、皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

最後になりますが、本年の北海道の安寧と道民の皆様の御多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

北海道知事

鈴木 直道



明けましておめでとうございます。北部方面隊の皆様におかれましては、平素から道政へのご理解とご協力を賜りますとともに、我が国の防衛はもとより、災害時の救援・救命活動など、道民の安全と安心を確保する上で大変大きな役割を担っていただいております。心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、一昨年の胆振東部地震の復旧復興が道半ばの中、道外において大規模な台風被害が発生し、甚大な被害がもたらされました。災害対策本部の設置の際には、北部方面隊から速やかに連絡員を派遣いただき、円滑な連絡調整を担っていただくとともに、元自衛官の道職員の方々には、被害が予想される地域に応援に行っていただくなど、自衛隊での豊富な経験を活かし、大いに活躍いただいております。

また、雄武町において発生した林野火災では、ヘリコプターによる空中消火など、自衛隊の皆様様の懸命な活動により鎮火することができました。

さらに、北海道防災総合訓練において炊き出しや緊急輸送路の確保を想定した架橋など、多岐にわたるご協力を賜ったほか、小中学生を対象として道内各地で実施した「一日防災学校」では、車両の展示や災害時の活動についてご講話をいただくなど、防災意識の向上にお力添えを賜ったところであり、重ねて感謝申し上げます。

近年の北海道では、台風や地震等の自然災害をはじめ、様々な危機事案が発生し、迅速かつ的確な対応が求められる中、北部方面隊に寄せられる期待はますます高まっております。皆様におかれましては、道民の皆様の安全・安心のため、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして、明るく希望に満ちた年となりますことをご心から祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

北海道自衛隊協力会

連合会会長
伊藤 義郎



吉田圭秀総監をはじめ、陸上自衛隊北部方面隊の皆様、それにご家族と北部方面隊と心を共にしている皆さん、加えて北海道の防衛配置に就いております航空自衛隊と海上自衛隊の皆様、令和2年の新春のお慶びを申し上げます。

我が国の最強の精鋭部隊である北部方面隊は、国の防衛はもとより、国際協力の参加も多く、また、大北海道の各地に駐屯し、四面海に囲まれ、国境のある北海道の防衛に対応されています。

北部方面隊と航空自衛隊、海上自衛隊の各部隊は防衛大綱と中期防衛計画に対処し、恵まれた演習場で、本年も一層精強な部隊であられることをご期待致します。最近では自然災害が多く、本年の災害の無いことを祈りますが、不幸にも発生する災害への救援にも備えて下さい。

最後に、北海道の自衛隊、総監を始め、隊員各位とご家族の皆様今年のご健勝をお祈りして、私の新春のご挨拶と致します。

公益社団法人隊友会 北海道隊友会連合会会長

堀口 英利



北部方面隊の隊員皆さん、並びにご家族の皆様、令和2年の始まりをお揃いでお健やかに迎えたこととお慶び申し上げます。

さて、令和2年度は、一昨年末に策定された新たな大綱・中期防の2年度目として「多次元統合防衛力」の構築に向け、宇宙・サイバー・電磁波など新領域の能力強化に力を注ぐとされています。日本を取り巻く安全保障環境は、従前とは違ったスピードで変化し新たな対応を求めています。具体的には、サイバー空間と宇宙から戦争が始まる時代にあつて、どのように対応すべきかなど想像力を発揮して対応することが求められているのです。

難しい時代にあつて厳しい変革が求められる中、北海道隊友会は今後とも現役の皆様方のお役に立てる支援・協力ができるよう微力ながら尽くしてまいります。より一層のご指導を頂ければ幸いです。

北海道自衛隊退職者 雇用協議会会長

岩田 圭剛



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

当協議会は道内合わせて約千六百社の会員を擁し、退職される自衛官の皆様就職をサポートし、企業の雇用促進に努めております。

昨年を振り返りますと、元号が「平成」から「令和」になり、新しい時代の幕開けとなった一方、台風などの自然災害が多く発生し、全国に甚大な被害をもたらしました。

特に、台風15号及び19号による被害におきましては、北部方面隊が被災地へ派遣されたことと存じますが、自衛官の皆様様の任務の重要性が増していること共に、国民からの期待が高まっていると感じております。

また、一方で、今年はいよいよ東京オリンピックが開催され、北海道でも各種競技が行われる予定になっており、北海道が世界から注目される1年となります。

私共といたしましては、北海道のより一層の活性化へ向け、本年も引き続き自衛官の皆様と会員との連携を図り、相互に有益な就業に繋がるよう努力して参る所存です。

国防の最前線で任務に精進されている自衛官の皆様様に深甚なる敬意を表しますとともに、本年が「あかしや」愛読の皆様にとりまして、良い年になりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人自衛隊家族会 北海道地域協議会会長

香月 正



新年あけましておめでとうございます。「あかしや」愛読の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃から、自衛隊家族会北海道地域協議会の活動に対しご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年は台風15号による被害、更には、台風19号により観測史上かつてない豪雨により12都県にわたり甚大な被害を受けられた方々に心からお見舞い申し上げます。

「日本人の誇り」であります。皆様方がご家族・生まれ育った故郷、そして我が国を守るため、最後の砦として危険を顧みず立派に任務を完遂されたことに敬意を表す次第であります。

結びに、近年、我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増している中、今年こそは災害のないことを願いつつ、自衛隊の主たる任務である国防のための訓練に邁進でき得る年になりますことをお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



謹賀新年
 謹んで新春のお慶びを申し上げます

第1特科団

第1特科団長
 陸将補
 大場 剛

謹賀新年

今年もよろしく
 お願い申し上げます

防空の要 第1高射特科団

第1高射特科団長
 陸将補
 高木 勝也

謹賀新年
 謹んで新年のお慶びを申し上げます

第3施設団

第3施設団長
 陸将補
 浅賀 政宏

RDEC への派遣 爆破薬による障害処理 4.5LP による指揮所構築 92FIB の架設 札幌雪まつり雪輸送

謹賀新年 **北海道補給処**

「一致団結」
「任務完遂」

北海道補給処長
 陸将補
 岡田 俊和

謹賀新年

今年も職員一同
 「心の通う信頼される病院」
 を目指します

自衛隊札幌病院長
 陸将
 大鹿 芳郎

令和元年度災害対処訓練

自衛隊旭川地方協力本部

本年も熱意をもって
積極的に行動します。



自衛隊旭川地方協力本部長
1等陸佐 山崎 誠一

自衛隊札幌地方協力本部

部員「一丸」、
任務完遂



自衛隊札幌地方協力本部長
1等陸佐 菅股 弘信



自衛隊帯広地方協力本部

本年も「日々漸新」の方針の下、
部員一同奮励努力してまいります



自衛隊帯広地方協力本部長
1等陸佐 濱本 博文

自衛隊函館地方協力本部

本年も「役割を果たす」の方針の下、
部員一同「任務完遂」に向かって
邁進します!!



自衛隊函館地方協力本部長
1等海佐 小幡 哲也



札幌地方協力本部
011(631)5472



旭川地方協力本部
0166(51)6060

自衛官候補生の採用は年間を通じて行っています！

採用は18歳から32歳までです

隊員自主募集情報は部隊等担当者まで！



帯広地方協力本部
0155(23)5882



函館地方協力本部
0138(53)6241



さっぽろ雪まつり雪像制作

あけましておめでとうございませう。令和2年1月1日、初めのお正月をいかに過ごしていきましょうか。令和2年は、昭和39年以来、56年ぶりに日本でも夏季オリンピックが開催される年です。北海道でもサッカーやマラソン、競歩が実施されることになり、間近でオリンピックの競技が見られる絶好の機会だと思えます。日本が世界から注目を浴びる一大イベントを一生の思い出となるよう是非、観戦して見てはいかがでしょうか。さて、北海道ではこれからさつぽろ雪まつりを代表とする冬のイベントがたくさん開催される予定です。方面隊の隊員も道内各地で雪像などの制作やスキー競技大会の運営支援等を行い、イベントの成功に貢献しています。寒い季節、家に閉じこもりがちになりませんが、是非、隊員たちの活躍する姿を見ていただきたいと思います。本年も部隊の活動、隊員の活躍する姿をお届けできるよう努めて参りますので、「あかしや」をよろしくお願いたします。

編集後記